

授業研修会（第2回指導主事訪問）について

小川卓也

1. テーマ設定

今年度は、第2回指導主事訪問で研究授業を行う年であった。前回（平成29年度）の1か月前課題は、「生徒がともに学び合い、自らの考えを表現する授業の実践」であり、「協働性」と「表現力の育成」をねらいとしたものだった。今年度は、さらに「振り返り」と「深い学び」を結びつけた授業実践にしていきたいと考え、「主体的に学びに向かう生徒の育成を目指して一振り返りを通して、自己の知識や学習内容を深められる授業の実践一」とした。「深い学び」を、授業を個別のものとはせず、前時と本時を連続性のある理解の深まりと捉え、振り返りの実践を重視したものである。

2. 英語科

<授業者からの感想>

- ・指導案では展開①と展開②に分けていたが、うまく区切って行うことができなかった。そこが一番の反省点であった。
- ・前時まででワークシートの challenge1step1 まではやっていた。その情報を元に口頭でやっていくつもりが、うまく指示できなかった。
- ・ザック先生（ALT）からは「話すスピードが速かった」と指摘をもらった。
- ・生徒が発表にオリジナリティーを入れてくれたので良かった。

<参観者からの感想>

- ・積極的に発表できる生徒が多いのは、これまでの恵先生の指導によるもの。グループで協力して一つのものを作り上げていくのが良かった。
- ・英語を活用して生徒が動いている。英語への抵抗がなくなっているようだ。一緒に学びたいと思った授業であった。
- ・英語が苦手な生徒もいるが、一人ひとりに役割を与えており、達成感のある授業だったのではないか。
- ・生徒の発言を否定せず、生徒の言葉を生かしていた。
- ・プリントの指示が少し不足している場面があった。

<指導助言>

- ・「学びの連続性」。学びのスパイラルを求めて授業をしてもらった。この連続性（聞く・話す）が、自然なコミュニケーションを作り出す。
- ・一つやって次、という生徒を乗せる話し方が良かった。
- ・授業内の指示を日本語で行いたくなるころだが、英語での指示を通していった。
- ・生徒の雰囲気良く、グループ活動が良くできていた。ゴール（発表）がぶれずにできていた。



